

— 広報 — なまじん

毎月1日発行



村章

11

1991
No.192

●今帰仁村の人口

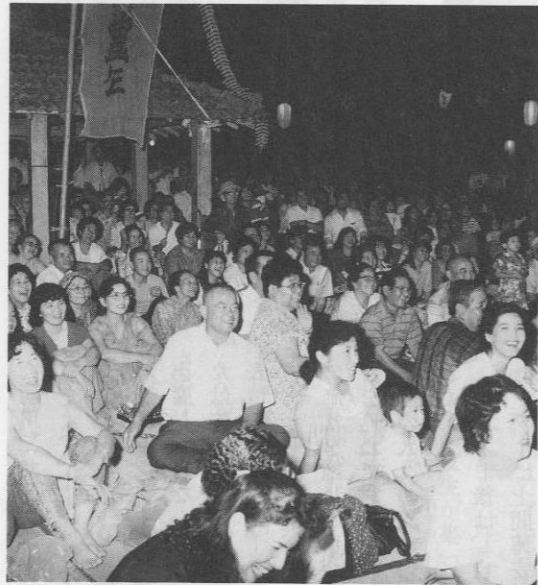
平成3年9月31日現在
男4,778人(-1) 女4,856人(±0)
世帯数3,091(+11)
村の人口9,634(-1)



今帰仁村内七カ字で豊年祭 伝統文化の保存と発展に大きな役割

今年、豊年祭のあたり年であった。旧暦の八月十五日、十六日に、アサギの広場やウドウイミヤーなどに舞台がつくられ、字あげて盛大に行われた。毎年行なっているのは湧川と上運天と仲尾次、五年マールあるいは四年マールで行なっている字が勢理客と謝名、それに崎山・今泊である。それらの字が一斉に豊年祭を行なうと、今帰仁の底力となって直に伝わってくる。今帰仁村で豊年祭が行われるようになった起源については、どの字でもよくわからない。本番に向けて一カ月前から練習を積み、三十余りの演目の成果を正日(本番)に舞台で披露する。踊り手と観衆が一体となり、拍手がおこり口笛が吹かれ盛り上がる場面がたびたびみられた。豊年祭への熱意が舞台に反映し、それが見る側にも十分に伝わってきた。

豊年祭は道ジユネーに始まり、獅子舞い・路次楽・棒術・踊り(四季口説や浜千鳥など)・七福神・寸劇など、それぞれの字で多彩な演目で演じられた。豊年祭は古くから字に伝わり、継承され続けてきた今帰仁村、そして字の誇りある伝統芸能である。



▲観衆に笑いが……(謝名)

村内各字

を設けて行われた。コテ節とハンタメー節、それにクバマ節(シチャマ小浜)は、豊年祭に欠かすことのできない踊りである。婦人たちが行うパジャンガー(馬山河)は、笑いをさそうと同時に豊年祭全体を盛り上げた。

■仲尾次は毎年豊年祭を行ない、今年は旧暦八月十四日だった。崎山のウデーシバンタでの御願踊りから始まり、今年新しい公民館やハサギが建設され、その祝いの意味合いも含んだ祭であった。

■今泊は公民館の側に舞台を設け、旧八月十一日、十三日、十五日の三日間行なった。マーウイでの道ジュネー。旗頭を先頭に長者大主、獅子、棒組などが続く。馬場跡に四十組余り組棒が一行に並び姿やスーマチーなど壮観である。舞台では踊りをはじめ、三崎親雲上(狂言)などが行なわれた。



▲道ジュネー(今泊)



▲子どもたちも参加(仲尾次)



▲アヤーチ(操り獅子)(謝名)



▲馬山川(バザンガー)



▲松竹梅(湧川)

の豊年祭

■湧川の豊年祭は、旧暦八月十四日に、下のアサギの広場に舞台を設け、豊年祭を行なった。毎年行なうが、寅・卯・戌にあたる年には「ウブ踊り」をし、組踊りや劇を入れて盛大に行われる。

■勢理客は旧暦八月十五日に豊年祭を行なった。公民館から少し離れたウドウイミヤーに舞台を設けて、そこで「かぎやで風」のウタから始まり、長者大主・踊りなどの演目へと続いていった。

■謝名の五年マーイの豊年祭は、旧暦八月十六日にアサギ庭に舞台を設けて開催された。公民館からアサギまでの道ジュネー。そして、稲摺狂言やヌンフル、サンスル・クルク節などの踊りがあつた。舞台の最後は数少ないアヤーチ(操り獅子)で閉めくつた。

■崎山の四年マーイの豊年祭は、旧暦八月十三日に茅葺き屋根のハサギ庭に舞台



▲踊りクワディーサー(勢理客)

募集 国立沖縄会員学校本科生

1. 募集人員 本科(修業年限3か年)約40名
 2. 受験資格
 - (1)年令 平成4年4月1日現在で満15歳以上19歳未満の者
 - (2)学歴 中学校卒業以上の者(平成4年3月中学校卒業見込と者を含む)
 3. 願書受付 平成4年1月9日~2月5日
 4. 入学試験
 - (1)期日 平成4年2月9日午前9時
 - (2)試験 国語・数学・英語 各科目50分
 5. 受験地 名護・那覇・石川・平良・石垣の各市
- ※詳しいことは国立沖縄海員学校教務課
電話098(964)3595・2595まで



新宿アパート
「さくら荘物語」
11月23日(土) 開場/午後6時
開演/午後6時30分

- ◆ところ……村コミュニティセンター
- ◆前売一般……2,000円(当日500円増)
- 学 生……1,500円
- ◆主 催……今帰仁村青年団協議会

「泳げないあなたも泳げるようになりませう」と村教育委員会はこのほど、初心者を対象に女性水泳教室を開いた。

六月にオープンした村民プールの教室には十六歳から六十九歳までの女性四十八人が参加した。参加者の多くは

生まれ初めて水につかたという国吉恵美子さんは、「最初は恐かったが徐々に慣れ、少しだけ泳げるようになりまし。もっと泳げるよう努力したい」と話していた。



真剣な中にもなごやかな雰囲気練習に取り組む受講者

全く泳げない人最初は水に対する恐怖心を取り除き、水に慣れようと、呼吸法からスタート。日本水泳連盟指導員の翁長紹子さん、教育委員会の指導員らの説明を緊張しながらも真剣な表情で聞いていた。少しでも泳げるようにと指導員の動きを一つひとつつまねみながら一生懸命。三日目には全員が泳げるようになった。

浮いた! 泳いだ!
村民プールで女性水泳教室

元氣にかじまやー

ゴーヤづくりに 取り組む

奥原 傳寶さん

湧川二九四、農業・奥原傳寶さん(九十七歳)の合同カジマヤー祝いが十月十四日、湧川集落センターで約三百名が出席して行なわれた。奥原さんは午前十一時、にこやかな表情でカジマヤーを手にオープンカーに乗り、色とりどりの飾りを施した車、約三十五台を連ねて村内をパレード。沿道の人々の温かい祝福を浴びた。

パレード後は、自宅や集落センターに上間博安村長始め多くの方が祝福に駆けつけた。湧川では生年祝いを合同



▶オープンカーに乗る奥原さん(左)



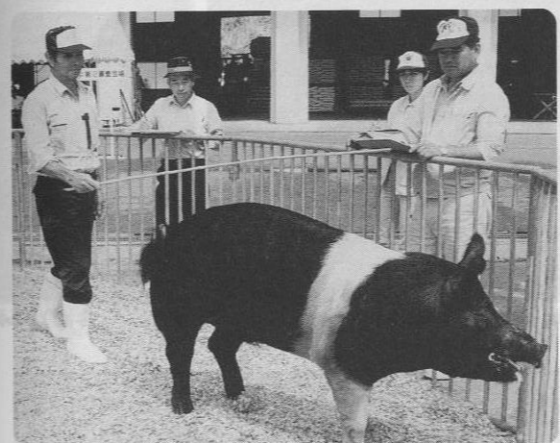
▶華やかなカジマヤーパレード

で催すのが慣わしで、字ぐるみでパレード、余興、接待に取り組んだ。集落センターの舞台ではかきやで風で幕があき、めでたい節、花の風車、加那ヨー、笑い福いなど多くの踊りと棒術で長寿を祝った。奥原さんは「ゴーヤづくり

今帰仁の家畜全頭入賞

第15回 北部地区畜産共進会

第十五回北部地区畜産共進会(北部振興会主催)が、十月四日村家畜セリ市場で行なわれ、肉用牛、乳用牛、種豚



優等に輝いた照屋全道さんの種豚

の三部門の十七類に九市町村から七十五頭が出品された。今帰仁村から出品した牛八頭、豚四頭の全てが入賞。当山清儀さんの肉用牛と照屋全道さんの種豚が優等に輝き、畜産村なきじんを強く印象づけた。

今帰仁村の入賞者は次のとおりです。

肉用牛未經産第一類 一等一席 大城喜英(平敷) 二等三席 伊野波盛達(今泊)

種豚若令雄 優等 照屋全道(渡喜仁) 一等一席 津波古充弘(湧川) 二等二席 照屋全道(渡喜仁) 種豚若令雄

なお、大会の結果、十一月十一日、十二日、東風平町で開かれる第十七回沖縄県畜産共進会には、北部代表として本村から、当山清儀・大城喜英・照屋全道・喜屋武勇さんの家畜が出品されることが決まった。

のおじいさん」と地域の人人々に親しまれている。長男の伊佐夫さんの経営するレストラ・マリリーのゴーヤチャンプルは全ておじいさんが丹精込めて育てたゴーヤ。

子六人、孫三十三人、曾孫三十三人に囲まれ、幸せに暮

らす奥原さんは、背筋もまっすぐに伸び、記憶力も確か。「健康で長生き」の秘訣を尋ねると「毎朝のコップ一杯のワシミルクと晩酌に飲むウチチ草の薬草酒。それによく働くことです」と笑顔で話していた。

離島フェア'91 古宇利島の紅芋大人気



「フェア」で古宇利架橋の早期実現も訴えた

島・二十四市町村が対象で、今帰仁村では古宇利島をはじめ村全域で取り組んだ。

特産品は、古宇利島の「紅芋」、やましろ屋の「海苔、シイタケ」、玉城養蜂園の「ハチミツ」、ローヤルゼリー」などの展示即売が行なわれ、各品とも飛ぶように売れ、盛況のうち三日間の幕を閉じた。

また、今年新しい試みとして、中日の二十二に、離島二十二市町村の中高校生が集い、「必ず創るぞ住みよい離島」をテーマに島の未来を語る子供サミットが開かれました。今帰仁村からは、古宇利中学校の平田清憲君と松田エミリアさんが参加し、島の自然の美しさをアピール。席上、古宇利架橋の必要性を強調し、早期実現を生徒の立場から発言しました。

島々のバラエティに富んだ特産品、豊かな伝統芸能を一室に集め、県内外に広く紹介し、離島の活力と魅力に満ちた地域づくりを一層推進することを目標に「離島フェア'91」が、九月二十一日から二十三日まで、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催された。

同フェアは、四十の有人離

犯罪・非行のない 社会建設を!

全国防犯運動

本部地区大会



「防犯」をアピールしようとパレードを行なう大会参加者

～聞かせて下さい村民の声～

- ★犯罪について知っていることは通報を!
- ★聞き込み捜査に協力を!
- ★被害に遭ったときは必ず届け出を!
- ★「事件かな?」と思ったら110番通報を!
- ★指命手配犯人の検挙にご協力を!

～ 犯罪捜査にご協力を～

本部警察署

「非行防止は親子の絆と嫌から」「見逃さず一声かける親の愛」のスローガンを掲げ十月十一日から始まった全国防犯運動を前に「防犯運動本部地区今帰仁大会」が十月九日、村コミュニティセンターで開催された。

大会は、本部警察署と同署管内の防犯協会、少年補導員連絡協議会の主催によるもの。席上、上里富喜久署長、金城英克防犯協会長のあいさつに続き、上間博安村長が「地域住民、警察、行政が一体となり、防犯運動を推進し、犯罪ゼロの地域をめざしましょう」と呼びかけた。

また、金城利恵子さん(北山高校三年生)は「今回の大会を通して、地域の人々が、より一層、犯罪防止に参加し、団結していけば、事件はきつと少なくなる」と信じます」と意見を発表した。

大会では、暴力団排除や少年の非行防止を盛り込んだ大会宣言を採択。引き続き、会場から今帰仁給油所前までパレードを行ない、道行く人に「防犯」をアピールした。

種目別順位と記録

(赤の太字は新記録、茶の太字は新種目、または規格・年齢の変更につき新記録)

Table with columns for rank (順位), item (項目), name (氏名), and record (記録). It lists results for various track and field events across different age groups (e.g., 一般男子, 一般女子, 壮年).



▲最優秀選手賞の嘉陽安彦・大城江梨子選手

チーム別成績

Table showing team performance (チーム別成績) with columns for team name (チーム), total points (得点), and individual rankings (順位).

今泊総合二年連続優勝
謝名・越地 女子
男子……兼次・諸志
壮年……今泊に栄冠



▲新種目三千M先頭は大城昭子選手

第四十六回今帰仁村陸上競技大会が、村体育協会(大城勝会長)主催で十月六日村営グラウンドで行なわれた。当日は、台風二十一号の影響が心配されたが、涼しいスポーツ日和に恵まれ、男子十九種目、女子十三種目、壮年十二種目に技を競った。熱戦の結果、男子は兼次・諸志が三年ぶりに、女子は謝名・越地が二年連続、壮年は今泊が制覇した。総合は今泊が二年連続優勝に輝いた。また、ヤリ投げで湧川の嘉陽安彦選手が自己の持つ大会記録を二メートル九十六センチ上まわる五十五メートル八十八センチの大会新記録を樹立した。

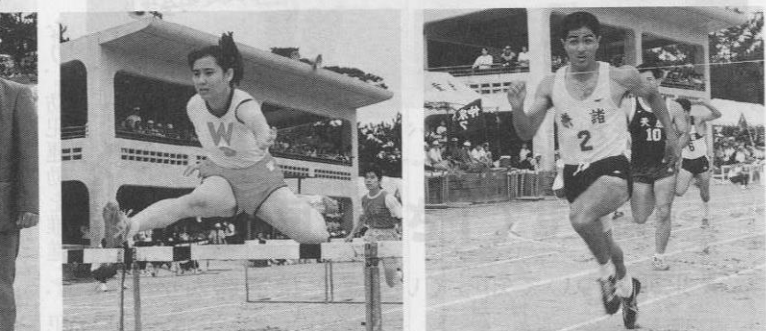


▲60代百Mの金城(中)と那嶺(左)比嘉(右)の各選手

大会において、村のスポーツ振興に尽くした新垣侃氏に功労賞、伊集一隆、松本光弘宮城正行の三氏に感謝状、長年選手として活躍した諸喜田信夫選手に優秀選手賞が、それぞれ村体育協会より贈られた。なお、男子最優秀選手賞(村長賞)はヤリ投げの嘉陽安彦選手に、女子最優秀選手賞(議長賞)は大城江梨子選手に贈られた。今大会から採用された新種目は、男子の六十代百メートルと年齢別リレー(六十代出場)、女子の三千メートルとヤリ投げ(ヤリの規格変更)でした。



▲表彰を受けた松本、伊集、諸喜田、新垣、宮城の各氏



▲華麗なハードリングの沢岷選手 ▲百Mで力走の島袋幸輝選手



▲年齢別リレー宮里選手のガッツポーズ ▲二百Mトップは久田哲史選手



▲総合と壮年で優勝に輝いた今泊チーム

児童手当制度が改正されます

児童手当 1人目の子どもから支給されます。

■平成4年1月1日から、児童手当制度が次のように改正されます。

事項	改正前	改正後
支給対象 期間 金額 対象 支給 第1子 第2子 第3子以降	第2子以降 義務教育就学前 2,500円(月額) 5,000円(月額)	第1子以降 3歳未満 5,000円(月額) 5,000円(月額) 10,000円(月額)

ただし、支給期間に関しては次のような経過措置があります。

第1子：平成3年1月2日以後に生まれた児童

第2子以降	支給対象期間	支給開始時期
	昭和60年4月2日～昭和61年12月31日生まれの児童	平成3年12月分まで支給
	昭和62年1月1日～昭和62年12月31日生まれの児童	5歳の誕生日の属する月分まで支給
	昭和63年1月1日～昭和63年12月31日生まれの児童	平成4年12月分まで支給
	平成元年1月1日～平成元年12月31日生まれの児童	4歳の誕生日の属する月分まで支給
	平成2年1月1日～平成2年12月31日生まれの児童	平成5年12月分まで支給
	平成3年1月1日以後に生まれた児童	3歳の誕生日の属する月分まで支給

平成3年1月2日以後に生まれた第1子については、平成4年1月から新たに手当の支給対象となりますが、該当する方は、認定請求の申請が必要となります。
この認定請求の受付は、平成3年11月から村役

場、厚生課（公務員の場合は勤務先）窓口で行ないますので、早めに手続きを済ませて下さい。
手続きが遅れますと、受けられる月分の手当が受けられなくなりますので、ご注意ください。

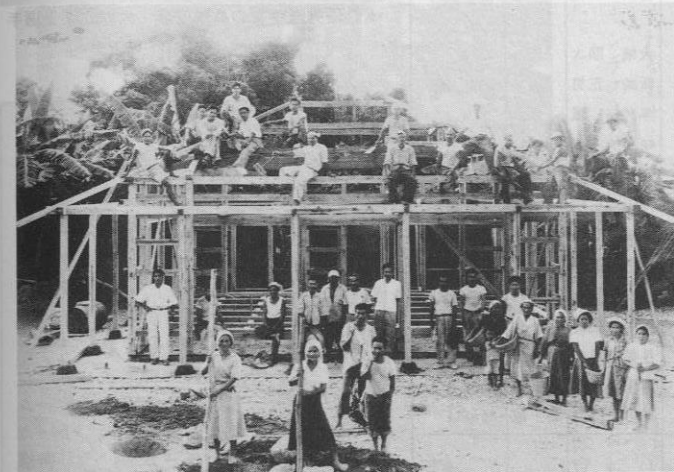
お問い合わせは、厚生課児童手当係
TEL 56-2101(内線40番)まで

写真にみる今帰仁 17

勢理客の公民館建設と豊年祭

村屋（ムラヤ）は、今帰仁村のどの字（部落）にもあり、今では公民館や農村環境サブセンターなどいろいろ新しい名前が呼ばれている。しかし、年配の多くの方々はムラヤや事務所などの呼び方がなじみ深く、字（アザ）の大事な公共施設である。言ってみれば、ムラ・シマ共同体をまとめていく上で中心となる施設である。戦前・戦後、現在、小さな茅葺きから瓦、そしてスラブへと大きく堅固な建物となってきた。

かつて、村屋（ムラヤ）には、掟・頭・耕作当・山当などの役人を配置し、番所（後の役場）の指揮監督をうけ、近世の村屋の伝統を引き継いできた。整理客の公民館もそうである。公民館敷地は、明治二十一年に天底小学校がスタートした場所である。
上の写真は、昭和三十（一九五五）年の勢理客の公民館建設の場面である。茅葺き屋根から瓦屋根に葺き替えられ



▲勢理客の公民館建設（1955年）

るところである。建物の柱は杉材を使い、当時においてはモダンな二十坪余りの建物である。場面は棟上げ式の直前の様子であろうか。字の方々（男も女も）が、夫（ブー）に出ているところである。まだ、裸足の時代で道具もバーキヤオアター（モツ

コ）などもあり、老婆などは着物姿である。戦後十年たつたとは言え、まだまだ生活が苦しい時代で、服装や履物に反映している。前方の二人の女性は棒を手にムチを突き、右側に一列の並んだ女性たちはバーキヤバケツなど運搬道具を手にしてのポーズである。この公民館は昭和五十四



▲ウドウイミヤ（踊庭）での豊年祭（1951年）

年まで使われ、同年に作りかえられた。昭和四十九年の状況は「木造建、遊具のある部分は芝生でおおわれており一段と高くなっている」「今帰仁村総合開発計画基本構想」より」と表現してある。
下の写真は、戦後数年たった昭和二十六（一九五二）年の豊年祭の時のウドウイミヤ（踊庭）での記念写真である。豊年祭のたびに仮設されていた舞台も、今年には常設の新しい舞台での豊年祭となった。両側には松竹梅にふんした二人が立ち、諸喜田幸福さ

んや大城清さん、それに湧川清蔵（故人）、仲村豊七郎（故人）、大城寛善（故人）氏などの姿が見える。多くの方々を失い、そして新しく多くの人々を生み出してきた。正面の大鼓に「勢理客青年団 寄贈一九五〇年八月」とあり、三線や小太鼓、舞台出演者は衣裳をまとっての記念写真である。豊年祭は字の人達が一休となり、戦後間もない経済的あるいは精神的に苦しい時代でありながら、すぐ再開した。それは、共同体としての意識や戦前から行なわれてきた伝統的な行事を自分達の時代で失いたくない、失ってはならないという意識が根強いからであろう。
今年も五年マリーの豊年祭が行われたが、写真当時より豪華で華やかであった。豊年祭への思いは、昔も今も変わらない。二十八年ぶり今帰仁を訪れた方が、「失われていった自然は、ムラの人々の経済的豊かさによって変わったのかな」と漏らされた言葉が幾度も響いてくる。公民館や豊年祭だけでなく、今帰仁村は大きく変わりつつある。

仲原 弘哲
（歴史資料館準備室）

国民年金コーナー

国民年金加入と納付

No.2

今回は、国民年金の加入者の種類と納付の仕組みについて説明しましょう。前回の広報で述べたように、昭和六十一年四月より、二十歳以上の国民が国民年金に加入し保険料を納付しなければなりません。
国民年金の加入者は、職業によって、納付方法が異なり、次の三つに分類されます。(一)会社勤めや公務員等は保険料を給料から天引きされます(第二号被保険者)。(二)サラリーマンの奥さんは、ご主人の加入する制度から保険料を負担します(第三号被保険者)。(三)農林水産業や自営業者等は保険料を納付書で直接納付します(第一号被保険者)。

保険料は、平成三年四月から一年間は月額九〇〇〇円ですが、毎年上がる予定です。一方、物価スライドにより給付額も上がります。国民年金保険料は年齢、性別、所得に関係なく一律です。
免除された期間の年金受給額は、通常の三分の一になります。過去十年以内なら、生活に余裕ができたときに納めましょう。そうしたら年金額は元に戻ります。

長い被保険者期間のうちに、保険料の納付が困難

青少年の主張大会 優秀賞



感動をバネに

湧川中学校三年 平良 照美

人間の行動に大きな影響を持つといわれる「心」。その「心」は人をいくらでも変えることが出来るといわれています。そこで私は、「感動する心」がどんな力を持っているのかこれからみなさんと一緒に考えていこうと思います。

忘れもしません、それは三月二十二日の卒業式のことです。「壁画除幕」司会の声がかきわたり、ゆっくり上がっていきわたり、ワッという歓声と拍手の中、まばゆい光の中を泳ぐ天使が私の心に舞い降りた時、私は思わず泣いてしまいました。

私は、現在生徒会長として部活動や学校行事、学習面に自分出来る精一杯の努力をし、何事にも積極的に取り組んでいます。それが古宇利に橋を架けようという事で、島の人はもちろん、村当局も積極的にこの問題に取り組んでいます。

去る六月衆議院沖縄特別委員会の皆さんや、沖縄県知事が見えた時も生徒の立場で「一日も早く架橋を」と訴える機会がありました。また、この問題が

志で立候補しながら「なぜ立候補したのだろうか」と後悔の毎日でした。そんな時壁画製作という仕事を与えられたのです。それは私が執行部になって初めての仕事でした。実行委員会が設けられ、話し合いが持たれた時「どうせ先生方の言う通りに動いていけばいいんだ」とのんきに構えていたのですが、現実はいまやりと不安の毎日でした。

何よりも大変だったのはテーマをイメージしたデザインを考えることでした。何度も話し合い、口喧嘩をしながら何日費やしたことでしよう。みんな口には出さなかつたけれど「私たちに出来るだろうか。引き受けるんじゃないか」という顔をしていました。ため息をつきながらやっとデザインが出来上がりました。時は思わず飛び上がってしまいました。それからがまた大変でした。二人一組で何枚も色塗りをして原画を完成し、OHPを拡大していくの

が瞬間にして悲しみに変わりました。橋が無いためにこんなことも起こったのです。それに、僕達も離島の為に色々困っていることがあります。第一に児童生徒の減少の問題です。全校生徒たった三十九人で、中学校は二十人しかいません。そのため部の結成、運動会や他の行事など盛大に出来ない時もあります。どうしてこんなに減ったのかという、やはり、自分の仕事や生活のため、本島に移つ

ます。古宇利島と本島を結んでいるのは、第八古宇利丸だけです。けれども、その船も一日五回しか出ません。だから、急な病人やけ人が出て来てもすぐに病院に連れて行くことができません。それから、砂糖キビなどの農作物などを市場へ出荷する時、定期便に合せたり、何度も臨時便を出し、頭を悩ませています。また、台風などが来た時、台風がやむまで古宇利島から

です。各学級の分担をして小学校、中学校の全校生徒で製作するのです。各学級へ見本を入れてお願いに行く頃からは、もう気持ちは楽になっていました。決められた日より早く、期待以上のものが集められました。

最後の仕上げは、卒業生をアツと言わせようと実行委員会だけで視聴覚室のカーテンを閉めきって秘密に秘密に行なわれました。

「光輝」という二文字しかなかったものが、今、全児童・生徒の熱い思いで日に日に姿を現していきます。卒業式の前日みんなの下校がおえるのを待って、舞台正面に壁画を貼った時は、もう大声で叫びだしてしまいました。みんなから離れ、一人で壁画を眺めていると、実行委員会が結成されてから今日までのことがいろいろと思い出され涙が止まりませんでした。帰りながら見た夜空の美しさ。空気の冷たさ。何もかも

が新鮮で体が宙に浮いているように感じた。生まれて初めての感動でした。感動は、何かを必死でやっていたところから生まれることがわかりました。行動しなければ何も生まれません。生徒会長になって本当に良かったと思います。今私は何にでも挑戦してみたいという気持ちになつています。壁画製作は私に、困難を乗り越えた後の言いようのない快感と自信を与えてくれました。一つの目標を達成出来た時それは次の目標への大きなステップになっていきます。私は、この感動をバネに次は運動会を成功させようと思っています。

役場ヤング優勝 秋季野球北部大会

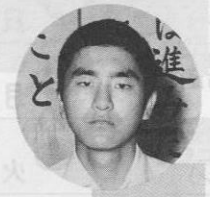
第八十二回秋季軟式野球大会 北部地区予選が九月一日より名護球場を主会場に開催された。この大会のC級で村役場ヤングチーム(写真)は初戦名護農協を二対〇、続く二回戦、三回戦をコールドで勝ち進み、決勝戦にコマを進めた。決勝戦は十月十日に行われ二回表に先取点の今帰仁村役場に対し、相手の琉球セメントは五回裏二点をあげ逆転。試合はそのまま終わるかにみえたが最終回、二死二塁から我那覇隆文選手があざやかにセンター前にはじき返し同点とし、そのまま延長へ。



延長に入ると今帰仁村役場の打線が爆発。八回一挙五点を取り、七対二で勝負を決めた。この大会二年ぶり二度目の優勝を飾った。

大会での個人賞は次のとおり。
●殊勲賞―島袋輝也(役場)
●殊勲賞―渡口 尚(琉セ)
●打撃一位―山内 篤(役場)
●打撃二位―屋嘉部功(役場)

青少年の主張大会 優秀賞



「今、訴えたいこと」

古宇利中学校三年 平田 清憲

多くの人たちに知ってもらいたいと思っています。

僕達の古宇利島は、本島に一番近い島でありながら、まだ橋が架かっていません。その理由は、橋を架ける部分の水深が深いことや、航路高が高いなどの問題点などがあるせいだということですが、今までの調査で完全に解決できるということが分かっています。

古宇利島は離島の為、大きな問題をいくつもかかえています。

ます。

古宇利島と本島を結んでいるのは、第八古宇利丸だけです。けれども、その船も一日五回しか出ません。だから、急な病人やけ人が出て来てもすぐに病院に連れて行くことができません。それから、砂糖キビなどの農作物などを市場へ出荷する時、定期便に合せたり、何度も臨時便を出し、頭を悩ませています。また、台風などが来た時、台風がやむまで古宇利島から

が瞬間にして悲しみに変わりました。橋が無いためにこんなことも起こったのです。それに、僕達も離島の為に色々困っていることがあります。第一に児童生徒の減少の問題です。全校生徒たった三十九人で、中学校は二十人しかいません。そのため部の結成、運動会や他の行事など盛大に出来ない時もあります。どうしてこんなに減ったのかという、やはり、自分の仕事や生活のため、本島に移つ

て行った人達が多いためです。また、離島のため学習面・部活動、その他の面で本島の生徒に遅れをとるのではないかと不安になることがあります。

遠足や部の練習試合など島外に出ても最終便に間に合わないといけないので、途中で引き上げたり、思う存分活動ができず、いつも時間に追われてられている感じがします。本島の生徒との交流も十分に

ます。このように僕達、古宇利の人達は、いろいろな面で大きなハンディを背負っているわけです。このハンディを無くすには、古宇利島に橋を架けるしかないのです。

橋を架ける運動は昭和五十四年に始まり、現在に至っています。その頃から十年余りの年月が流れました。その当時の運動の中心になった方々の中にはすでに亡くなられた方もいますが、今、元気でいるお年寄りの方々が「自分たちが生きている間に架橋を実現し、自分たちの足で橋を歩いてみたい」と話している方もいます。

島の人々や村当局、沖縄県沖特委と多くの方が大橋の実現は真近かではないかと期待しています。また、多くの方々の御理解と協力を得たいと切に希望しています。

- ### ご寄付
- 村社会福祉協議会へ
金城峯子さん(上運天二二)から夫、民定さんの香典返しとして五万円。
 - 村商工会青年部から村まつりバザーの収益の一部三万円。
 - 具志国男さん(横浜市)から父、忠徳さんの香典返しとして五万円。
 - 大城カズ子さん(勢理客八四)から母、仲村ウシさんの米寿記念として十万円。
 - 村育英会へ
●運天政宏さん(名護市)から母佳子さんの米寿記念として十万円。
 - 芳志ありがとつ(さい)しました。

平成3年今帰仁村平和祈願祭

★★

- 1. 主催 今帰仁村、今帰仁村遺族会
- 1. 日時 11月20日(水)午後2時より
- 1. 場所 今帰仁村慰霊之塔前

★★

11月/霜月

村民カレンダー

1991年



11/1 金	○ポリオ予防接種(9:00~11:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
2 土	○第9回今帰仁村文化祭(13:00テブカット) ○(14:00~18:00総合展示会、18:30トートーメー万歳) ○(中央公民館・コミセン)
3 日	○第9回今帰仁村文化祭(9:00~18:00総合展示会) ○(13:00~15:00舞台第一部、15:30~17:30舞台第二部) ○(18:00~後夜祭) ○(中央公民館・コミセン)
4 月	○振替休日
5 火	○納税表彰式(15:30~中央公民館) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
6 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
7 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
8 金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
9 土	○秋の全国火災予防運動(9日~15日) ○役場閉庁
10 日	○ツールド・おきなわ91(7:00コースは北部9市町村) ○北部地区障害者フェスティバル(コミセン) ○子豚せり市(13:00~家畜せり市場)
11 月	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
12 火	○D・P・T子防接種(13:00~14:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
13 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
14 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
15 金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
16 土	○インフルエンザ予防接種(14:00~15:00コミセン) ○牛のせり市(11:00~家畜せり市場) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)

17 日	○乳幼児一般検診(9:00~14:00受付コミセン)
18 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
19 火	○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
20 水	○今帰仁村平和祈願祭(13:00~村慰霊塔前) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
21 木	○北山老人大学地域交流会(14:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
22 金	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○夫婦の日
23 土	○勤労感謝の日
24 日	
25 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
26 火	○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン) ○子豚せり市(13:00~家畜せり市場) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
27 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
28 木	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
29 金	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
30 土	○学力向上対策研究発表会(14:00~17:00コミセン)
12/1 日	○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
2 月	○ツベルクリン反応予防接種(コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○幼児ことばの教室(9:00~12:00コミセン)

十月十九日「第七回やんばるの産業まつり」にも出演し、お客さんから称賛を浴びた。

■今泊の「棒」と「獅子」は十月十九日「第七回やんばるの産業まつり」にも出演し、お客さんから称賛を浴びた。

張感のある棒で見事でした」と感想を述べていた。

手を送られた。今泊の「棒」を初めて見たという古老は、「力強く勇壮で張り詰めた緊張感のある棒で見事でした」と感想を述べていた。

と「棒」が舞台狭しと動きまわると会場から一番大きな拍手が送られた。今泊の「棒」を初めて見たという古老は、「力強く勇壮で張り詰めた緊張感のある棒で見事でした」と感想を述べていた。

■十月十三日、具志川市の安慶名城址に隣接する闘牛場において「第六回全島獅子舞フェスティバル」が開催された。

具志川市田場、勝連町南風原、金武町金武、浦添市仲西、具志川村兼城、石垣市大川、それに、今帰仁村から今泊の獅子が出場。浦添市勢理客のこども獅子も参加し、フェスティバルに花を添えた。

■各地の獅子は顔や色もいろいろで、舞い方や表情も微妙に違い、ユーモラスな中にも雄々しいその姿は観客に深い感動を与えた。

■花火打ち上げ前の盛り上がったところで、今泊の「獅子」と「棒」が舞台狭しと動きまわると会場から一番大きな拍手が送られた。今泊の「棒」を初めて見たという古老は、「力強く勇壮で張り詰めた緊張感のある棒で見事でした」と感想を述べていた。

